



本島通信

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268

天理教本島大教会

電話 0877-27-3321 (代)

本島通信編集室 R221222-1225-15

奈良県天理市指柳町270-1

本島詰所 〒632-0093

電話 0743-63-1571 (呼)

<https://www.honjima.com>

Email: webmaster@honjima.com

大教会 朝夕おつとめ時間

【1月1日～1月31日】

朝づとめ 午前6時45分

夕づとめ 午後6時00分

明けましておめでとうございます

昨年本島大教会は真柱様のメッセージを
賜り、創立百二十周年記念祭を勇んで勤
めさせて頂きました

誠にありがとうございました

本年はこの喜びを胸に、諭達第四号の精
神を心に治め、皆様と共に教祖百四十年
祭に向けて三年千日の歩みを踏み出させ
て頂きたいと存じます

いつもご存命の教祖から頂戴する親心
いっぱいのお計らいを感じながら、ひな
がたの道を辿り、心明るくたすけ一条の
御用に努めさせていただきましよう
本年もよろしく願いたします

立教百八十六年 元旦

天理教本島大教会長 片山 幹 太



教祖百四十年祭 **本部巡教**

日時 1月21日(土)午後2時より

会場 本島大教会神殿

巡教員 本部員 田中善吉先生

あけましておめでとうございます

立教186年 各会より謹んでごあいさつを申し上げます

婦人会本島支部長 片山かおり

新年明けましておめでとうございます。旧年中は婦人会活動の上に何かとご尽力賜り、誠にありがとうございます。

いよいよ年祭活動がスタートいたしました。婦人会本部からも、成人目標はこれまで通り『ひながたをたどり陽気ぐらしの台となりましょう』とご提示していただいておりますが、活動方針は新たに

『教祖140年祭に向かって 育つ努力、育てる丹精に徹しよう』

◇元なる思召を伝え広めよう

◇老いも若きもおたすけの喜びを味わおう

とお打ち出し下さいました。論達に込められた真柱様の思いをしっかりと胸に治め、道の台としてお互いの活動方針に沿って、教祖にお喜びいただける日々を通していただきましょう。また、大教会から打ち出される年祭活動においても、道の台としてできることを精一杯つとめて参りたいと思います。本年もお力添えの程よろしくお願いいたします。



少年会本島団团长 大上 道德

新年明けましておめでとうございます。旧年中は少年会活動の上にご理解とご協力を賜り、御丹精下さいまして誠に有難うございました。

昨年12月22日付で新委員会が発足され、これまで重責を担ってこられた前团长よりその責任を引き継がせて頂くことになり、身の引き締まる思いであります。大教会長様を芯に、歴代团长をはじめ大勢の先輩先生方が築き上げて来られた歴史と伝統のお陰で今日あることを肝に銘じ、届かぬながらも一生懸命勤めさせて頂きたいと思っております。

そして大教会長様が目指しておられます世界たすけの人材育成、本島の道の将来を担う少年会員の丹精の上に、教祖140年祭三年千日を迎える本年を委員一同勇んで歩ませて頂きます。何卒今年も一年よろしくお願い申し上げます。

青年会本島分会委員長

伊東賢太郎

新年明けましておめでとうございます。昨年は青年会活動の上に御心をお寄せ頂き誠にありがとうございます。青年会は、「世界たすけへの挑戦」「かしのかりもの」の教えを治める【自分でできるおたすけに動き出す】の基本方針のもと、本島分会では、本年から始まる教祖140年祭三年千日をどう通らせていただいたらよいのかを考え、共に勇んで活動できるよう、本島魂、情熱と勢いを持って活動を推し進めてまいります。また、本島分会が「心の拠り所」となるように、みんなで共に考えていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い致します。

本島学生担当委員長 雲庵 春彦

新年あけましておめでとうございます。旧年中は学生層育成の上にご尽力を頂きありがとうございました。本年も学生生徒修養会、春の学生おちばがえりと、本部の活動を中心に、新しい委員会と協力して務めさせて頂き、ともに成人させて頂きたいと思っております。皆様方には学生の丹精、声掛けにご協力をお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。



キーワードは、おつとめ・布教・おちばがえり

12月大教会教会長会議

立教185年12月22日

大教会長 片山 幹太

他者のために修養科へ来られていました。

一人は0歳の甥御さんの難病をなんとか御守護頂きたいという思いから修養科を志願されました。

もう一人は8年間も入院されていた従妹さんに付き添って、修養科を志願されました。

お二人とも甥御さん、従妹さんのため3ヶ月間をお供えされ、修養科へ来られました。そのお二人を通して、おちばは尊いところであり、人間をお創りくださったその場所へ人様のために帰らせて頂く所なのだと学びました。

教祖年祭活動も、おちばを中心に物事を思案し、三年千日を通して頂きたいと思います。

1月21日は本部巡教を、本部員田中善吉先生をお迎えして開催させて頂きます。そこで論達(うんたつ)の精神、これからの取り組みなどについてお話を頂戴します。

教祖は約18回を数える御苦勞(うづしみ)をお通り下さいましたが、現身をお隠しになるその時まで、お側の方々に、おつとめを急ぎ込まれました。

これは私の思案ですが、お側の

方々は皆、教祖が大好きで、教祖に元氣になって頂きたい、そのことはいっぱいだったと思うのです。ところが教祖は、世界(よこ)たすけのためのおつとめを急ぎ込まれました。

教祖50年のひながたの道を振り返り、まずおつとめに心をしっかり込めること、教祖にお喜び頂けるよう、思召に沿ったおつとめが勤められるよう努めさせて頂きたいと思います。そしておつとめと並んで、布教もこれから3年間意識して日々を通して頂きましょう。

昨年11月22日、世話人宮森与一郎先生のお入り込みを頂き、「教祖のひながたをたどる」とはどういうこととお話を頂きました。

宮森先生は「ひながたをたどるとは、分からない人に分かるまで説いて通る、連れて通る。そのための苦勞は何でもさせて頂く。これがひながたであります」と明解にお話くださいました。

この三年千日、ようばく一人ひとりが年祭活動を自覚して、分からない人に分かるまで説き、連れて通る。教会へ誘い、おちばへお連れさせて頂き、さらには別席、修養科へと

丹精させて頂く。一人がまず一人を、そして二人三人と、おつとめに願いを込めながら勤めさせて頂きたいと思います。

さらにおちばがえりでは、ただ帰るだけでなく、親孝行を意識した帰り方、おちばでの過ごし方をさせて頂きましょう。

私の中の大きなキーワードは、「おつとめ」「布教」「おちばがえり」です。小さなことでは、「ありがとう」を言われるより、言う方を沢山していきたいと思っています。

1月21日の本部巡教に続き、25日は本島詰所にて「決起の集い」を開催させて頂きます。この集いでは、本部巡教を受けて、各教会の心定めについて皆で話し合いをさせて頂けたらと思っています。

教会につながるすべてのようばく信者さんに、教祖年祭活動は人ごとではなく我がこととして歩んで頂けるよう、その丹精のための「決起の集い」とさせて頂きたいと考えています。

今年も一年間ありがとうございました。

来年もよろしく願いいたします。

本島大教会 神殿講話(要旨)

【立教186年12月22日】

「変わらんが誠」 成人目標を定めて年祭活動へ

大教会役員 池田さわみ

只今は本年納めの12月の月次祭を大教会長様を芯に一つ心で勇んで勤めさせて頂きましたことをご同慶に存じます。

本年は5月21日に大教会創立120周年記念祭が勤められました。大教会長様は本島につながる全員が「一つ」に三年千日を歩むことを大きな目標として、その中にも「教祖の



ひながたを辿る」「おつとめの勤修」「初席者・中席者を丹精して満席へ」「道の将来を担う人材の育成」と四つの項目を示され、それぞれが成人目標をしっかりと定めて、それを進めていく結果、3年後に一手一つの心でみんなが次の塚に向かって歩み出せるような心を配って下さったように思います。

私は総務の御用を頂き、大教会でひのきしんをさせて頂く時間が多くありました。特に青年会ウィークン隊が1年前の6月に結成され、土曜日曜に帰って来て、ひのきしんに励んでくれました。

仕事をしながらという青年会員がほとんどだったと思いますが、次第にその輪が広がり、記念祭直前の5月連休には、遠方から、「毎週は帰

れないけど、少しでもひのきしんをさせて頂きたい」と、老若男女多勢の方が帰って来られ、和気あいあいとひのきしんをされました。

親神様に生かされている有難さ。その喜びと感謝の心から生まれる行動はどんなことも「ひのきしん」とお聞かせ頂きます。未信者の方が子供さんを連れて青年さんといっしょにテント張りや草刈りをされたり、赤ちゃんの笑顔やちよつとした動きが、その場の大人の雰囲気や和ませたり、又、古い信者さんがひのきしんに来られてその方のお世話取りをされる老先生。数え上げればきりが無い程多くの方のひのきしんの真実が記念祭へと結実していったように思えます。

大教会でのひのきしんだけでなく、送り出してくださった教会やようばく家庭の方々も陰で支えて下さっているということでは、神様に受け取って頂けるひのきしんであると思えました。

今までに経験したことのない感染症対策をしながらの日々でしたが、お陰をもちまして滞りなくこの長い期間を勤められた事も大変ありがたいことでした。

記念祭当日には、真柱様よりお言

葉を頂戴いたしました。

心に残ったお言葉の中に、

「本島の道は一日にしてなったのではなく、百二十年の長い年月、皆さんがたの先祖先人が、教祖のひながたを慕ってたすけ一条に道を通り、勤めてきたからこそ今日があるのであります。この先人たちの心を受け継ぎ、その足跡の上に立って、新しく道を伸ばして、少しでも成人の歩みを進め、それと共に、後に続いて歩む人を責任持つて育てていくことが、皆さん方の役目であると思います。」

と、これからの私達の歩む道をお示し頂きました。これからの私達の進む道を考える時、現在の私はようばくとして、真剣に道を通らせて頂いているのだろうかと考えますと、自信を持って「はい」とは言えません。

毎日、朝夕のおつとめには、身上事情の信者さんの顔を思い浮かべご守護をお願いしています。たとえば、老齢の一人暮らしの婦人さんのところへ、できることなら毎日でも伺って話を聞かせて頂いたり、たまには食事を作って持って行って喜んで頂きたいと思い、動き始めるのですが、大きく目標を持ちすぎるのか、だんだん伺うことができなくなると自分

の決心の弱さで、結局何も出来ていないと反省ばかりが出て来るような日も多々あります。

人のたすかりを願うとき、神様に受け取って頂ける理づくりをさせて頂くとうちは考えるのですが、たすかりを願う相手の方にも共に理づくりが大切ということを教えて頂いた経験があります。

昨年の12月、部内会長の奥さんが、身上が長引いているので、おさづけを取り次がせて頂こうと、車で30分ぐらいでしょうか、連れて行ってもらったときのことです。

神殿で参拝をして、奥の部屋で寝ている奥さんに挨拶して、今からおさづけを取り次がせて頂くので、神殿でお願いをして来ます。と言って参拝場に座ったちようどその時に携帯が鳴り、その相手が大教会長様でございました。

それは、部内会長に教養掛をつとめて頂きたいというお話でした。さらに、長い間奥さんにもお会いしていないので是非会いたい。おちばへはご夫婦で帰って来て、教養掛をつとめて下さい。と言われます。

私は申し訳ないことに、それまで会長が奥さんを連れて大教会やおち

ばへ帰ることは難しいと、自分勝手に思っていました。身上の方なら尚更お連れしてご守護頂けるようお願いするのがようばくとして当然のことなのですが、世間並の考えだったことをまず反省しました。

私の中では大教会長様はサプライズの会長様です。何故かと言いますと、絶対それは考えられないようなお話を下さるからです。そのお心は深く暖かく、部内教会の端々のことも常に考えて下さっていると感じています。

おさづけ取次ぎの直前に、まるで私の動きが見えていたようなタイミングでお電話を頂いたことから、これは神様からの声と受け取らせて頂き、部内会長にもこの話をし、「教養掛を勤めることを決心して欲しい」と伝えました。

その後、信者さん方にも相談して、4月から夫婦で3か月間詰所で勤めさせて頂くことになりました。

4月には身上の奥さんは車椅子で昇殿参拝をさせて頂き、親のお声に添わせて頂くことは有難いことと喜ばせて頂きました。

留守の3ヶ月間は、信者さん、兄弟がたすけ合って、教会の月次祭

や御用をして下さり、共に理づくり、成人をさせて頂けていることを実感し、「たすける理がたすかる」とお聞かせ頂きますが、大教会長様の「おちばの理を戴いて、ご守護を頂ける道を通って欲しい」という親心と、自分の都合や勝手を考えずに、誠実の心でつとめる部内会長の姿に、今は見えなくても、先々、必ず喜びの芽が吹いてくる日が来ることと思いました。

記念祭には会長不在でしたが、未信者の方も含め10名帰らせて頂き、これも大変ありがたいことでした。

さて、先人の心を受け継ぐには、自分の信仰の原点や、家庭、教会の元一日を忘れてはいけません。先人先伝えていくことも大切です。先人先生方は、身上の悩み、事情のもつれ等で信仰にお引き寄せ頂いたと思いますが、お話を聞かせて頂き、心を定め、思召し通りに通らせて頂く中に不思議なご守護を頂かれ、益々心勇んで艱難苦勞の中もいとわずご恩報じに勤められたと思います。

私も身上で40日間入院して、退院した時の外の空気、澄んだ空の青さは今でも思い出すことができますし、何よりも、親神様から日々お貸し与

え頂いているこの体に改めて感謝と喜びの心が溢れ、教会の御用にお使い頂けるよう少しでも成人させて頂きたいと思いました。

しかし、年月と共に感激した心も薄れていくのも事実ですが、こういう機会に改めて思いおこし、親神様のお導きがあればこそ今の今です。不足の心は使われないよう、陽気ぐらしの出来る日々を通して頂きたいと思っています。

さて、来年1月21日には、「教祖百四十年祭本部巡教」を受講させて頂き、25日には「教祖百四十年祭決起の集い」が開催されます。

10月26日に真柱様より「諭達」の御発布を戴き、詰所講堂で拝読させて頂いた時、年限の浅い人も年限の経った人にも心に治まるようお示し下さっていると思いました。

私達は親神様、ご存命で世界たすけの先頭に立つてお働き下される教祖のお導きを信じ、もたれて、道具衆としてお使い頂けるよう働かせて頂きたいと心から思います。

深谷善和先生の「お道のことば」という本の中から、「変わらんが誠」を読ませて頂きます。

『変わらんが誠』

親神様のお言葉に、
変わらんが誠、変わった分にはど
うもならん。

(おさしづ M 24・4・27)

というお言葉があります。一度こ
うと定めた心は、途中でくじけたり、
曲げたりすることなく、最後まで変
わらず守り通し、実行し、貫徹して
こそ、誠の心と言うことができるの
だ、という意味のお言葉です。

真柱様は、常日「お互いにとつ
て、何かの機会に、よし！これから
こう歩もう、とか、こうしよう、と
いう決心をすることは、割合やさし
いのだが、さて、その定めた心をい
つまでも忘れず、狂わさず、実行し
ていくことは、なかなかむずかしい。
しかし、心定めとは一つの目標を定
めたそれだけでよいというのではなく、
定めた目標に向かって、それをどこ
までも実行していくという心を固め
ることである」とお教え下さっていま
す。確かに「変わらんが誠、変わった
分にはどうもならん」であります。

また、

続いてあつてこそ、道という。続
かん事は道とは言わん。

(おさしづ M 39・5・21)

という親神様のお言葉もあります。
どんなよいことでも、続けてこ
そ、その真価も現れるのであつて、
ちよつとした思いつきや、その場
限りの行動では、本当の真実、誠
とは言えないでしょう。もちろん
一度は一度、やらないよりはやる
方がいいのですから、気がついた
こと、思い立ったことはまず実行
することが大切ですが、その中で
も、たとえ、どんなに小さな事柄
や目立たぬことであっても、途切
れることなく、こつこつと実行し
ていくのが、本当の誠というもの
だと教えられますのです。

(お道のことは・深谷善和著、206頁)

この文章を読ませて頂き、最初
に申しましたそれぞれが成人目標
をしつかり定めて、それを進めて
いく結果、3年後に一手一つの心
で次の塚に歩み出せるよう心を
配って下さった大教会長様と本島
につながる全ようぼくが、教祖140
年祭への三年千日を「論達」の精神
と変わらぬ誠の心で勤めさせて頂
きたいと存じます。

ご清聴ありがとうございました。

(文責・本島通信編集室)



全教会一斉巡教 巡教員説明会

全教会一斉巡教の第1回巡教員説明会が12月22日午後3時より大教会会議所

にて行われ、17名が受講しました。

これは去る11月27日にご本部で開催された
「全教会一斉巡教説明会」の資料に基づいたも
の。巡教員は論達に込められた精神をよく心
に治め、テキストに準拠するとともに、自ら
の信念や体験談も交えて信仰の年限の浅い信
者などにも理解しやすいように分かりやすく
伝えることを確認しました。

研修会は12月25日、1月7日にも本島詰所
で開催。約30名が巡教員に指名され勤めさせ
て頂く予定です。

教祖百四十年祭 全教会一斉巡教 〈実施に向けて〉

趣 旨 教祖百四十年祭に向かう三年千
日の歩み出しにあたり、本部巡教を受けた各
直属教会が全部内教会への巡教を実施し、所
属する全ようぼく信者に対して論達の精神と
年祭活動の意義の徹底を図る。加えて、直属
教会として定めた具体的な方針、目標を基に、
各教会が目標をもって、活動を進めていく。

対 象 全ようぼく信者

実施期間 立教186年2月～5月
月次祭の日も可とするが、祭典終了後、改め
て実施のこと。委細は巡教員と相談する。

内容

- 一、親神様、教祖、祖霊様 礼拝 (巡教員)
- 一、開講挨拶 論達第四号拝読(当該教会長)
- 一、講話 (巡教員)
- 一、閉講挨拶 (当該教会長の決意を含む)
- 一、親神様、教祖、祖霊様 礼拝 (巡教員)

十二月月次祭 祭典役割

献饌長 片山勲
伝 供 西山道教・平井真治郎・
篠原丕王・吉田晴雄・永島宗行・
大上道徳・後藤正治・奥村龍夫・
高垣光治・片山直明・吉田知彦・
高島榮造・長濱充憲・岩橋守行・
長尾海和・岩橋秀一・鎌田典夫・
山下英久・須崎晴道・滑川善久・
上山康雄・位下道治・川村吉
夫・溝口晋太郎・木村太喜・
岩橋竜造
雅楽奉仕者 文岡育則・池田
恒治・上山薫・伊東賢太郎・
内橋和博・鎌田康典・伊東慎
平（順不同）

祭主 指図方	大教会長	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半
	井上哲	厩者	岡崎八十則	賛者
祭主	大教会長	寺本教生	向所隆文	雲庵春彦
指図方	井上哲	岡崎八十則	雲庵春彦	
地方	片山勲 牧野道昭 西山道教	岡崎八十則 後藤正治 山下英久	高島榮造 長濱充憲 岩橋守行	
てをどり	大教会長 高島清弘 寺本教生 會長夫人 片山やすゑ 池田さわみ	平井真治郎 篠原丕王 滑川善久 岩橋元実 雲庵まち子 原口和子	片山直明 長尾海和 岩橋秀一 梅木澄代 菅岡和美 岩橋貴子	
ちやんぼん 拍子木	岩橋竜造 雲庵道延 老木邦光 向所隆文 岩橋慶三 吉田晴雄	高垣光治 奥村龍夫 窪田靖明 永島宗行 溝口晋太郎 大上道徳	雲庵春彦 吉田知彦 木村太喜 位下道治 上山康雄 鎌田典夫	
太鼓	向所隆文 岩橋慶三 吉田晴雄	永島宗行 溝口晋太郎 大上道徳	位下道治 上山康雄 鎌田典夫	
すりがね	吉田晴雄	大上道徳	鎌田典夫	
小鼓	向所隆文 岩橋慶三 吉田晴雄	永島宗行 溝口晋太郎 大上道徳	位下道治 上山康雄 鎌田典夫	
三味線	向所隆文 岩橋慶三 吉田晴雄	永島宗行 溝口晋太郎 大上道徳	位下道治 上山康雄 鎌田典夫	
胡弓	向所隆文 岩橋慶三 吉田晴雄	永島宗行 溝口晋太郎 大上道徳	位下道治 上山康雄 鎌田典夫	
神殿講話	池田さわみ			

十二月月次祭祭文

立教百八十五年十二月二十二日

これの神床にお鎮まり下さいます親神天理
王命の御前に天理教本島大教会長片山幹太
慎んで申し上げます。
親神様の自由の御守護と厚き親心のまにま
に、日々結構にお連れ通り頂く中に、今日
は早くも納めの月次祭を執り行う日柄を迎
えました

思い返せば本年はコロナ禍の中、大教会創
立百二十周年記念祭を本島に繋がる多くの
よふばく信者が一手一つに先人方々のぢば
一筋の道に続く決意も新たに感激の裡につ
とめさせて頂きました

また今日まで届かぬ私共を親心いっばい
にお連れ通りお導き頂きましたことを、心か
ら厚く御礼申し上げます

ここに本年中に賜りました御厚恩の数々を
心より御礼申し上げ只今よりおつとめ奉仕
者一同心を一つに合わせて、座りづとめ・
てをどりを陽気に勇んでつとめて十二月の
月次祭をつとめさせて頂きます

御前には年の瀬も厭わず帰り集いました教
え子達がおうたを唱和して共に御礼申し上
げる真実の状をもご覧下さいまして親神様
にもお勇み下さいますようお願い申し上げ
ます

尚去る十月二十六日に真柱様より御発布賜
りました「論達第四号」にお示し下さいまし
た指針を心に教祖百四十年祭に向けて私共
よふばく一人ひとりが教祖の道具衆として

の自覚を高め仕切って成人の歩みを進めさ
せて頂きたいと存じます

更には明年一月二十一日当大教会に於いて
本部員田中善吉先生のお入り込みを戴いて
「本部巡教」を受講させて頂きます。

このぢばの理を受けて一月二十五日には本
島詰所に於て「教祖百四十年祭決起の集い」
を開催させて頂きます

この時旬に私共は教祖のひながたを目標と
してたすけ一条を胸に真柱様の思召に添い
切る決意でございます

ここにこの一年間におかけ下さいました親
心に重ねて御礼申し上げ併せて来る年も時
旬にふさわしい歩みをさせて頂けますよう
お連れ通りの程を一同と共に慎んでお願い
申し上げます

（原文のまま）

入社祭

立教185年12月の入社祭はありませんで
した。

12月22日(木)
【香川県丸亀市】

天候 雨時々晴一時曇
最低気温 2.8℃
最高気温 10.0℃
平均気圧 1001.6 hPa
平均湿度 77%
平均風速 3.8 m/s
日照時間 1.9 時間
降水量 8.5 mm

役員・准役員登用

去る12月22日大教会教会会長会議において、大教会役員ならびに准役員の登用がありました。

役員登用



窪田靖明
(本新田分教会会長・80歳)

准役員登用



茶屋原良昭
(本迪分教会会長・63歳)



横山正次
(本島大教会・55歳)



高島栄造
(撫川分教会会長・51歳)



横山富明
(本島大教会・50歳)



横関茂治
(本島大教会・49歳)



長尾海和
(本亀分教会会長・46歳)

大教会人事

(立教185年12月22日付)

おつとめ修練部

部長 窪田靖明

副部長 岩橋竜造

同 後藤正治

同 奥村龍夫

委員 茶屋原良昭

同 横山正次

同 長尾海和

同 秋元浩二

同 田中丸勝也

同 肥後章

同 吉田知彦

同 白垣初生

同 長濱充憲

同 片山孝代

同 池田さわみ

同 伊東晴美

同 井上みつの

同 岡崎むつゑ

同 原口和子

【計19名】

布教部

部長 平井真治郎

副部長 吉田晴雄

同 向所隆文

委員 伊東康成

同 高垣光治

同 山下英久

同 位下道治

同 上野作也

同 鎌田典夫

同 宮路和徳

【計10名】

青年会本島分会

委員長 伊東賢太郎

副委員長 内橋和博

同 鎌田康典

委員 香川靖幸

同 江崎大

同 白垣俊生

同 向所慶太

同 伊東慎平

同 菅岡繁理

同 神前和博

同 井上周平

同 吉田貴慶

【計12名】

少年会本島団

団長 大上道徳

副団長 片山直明

同 横山富明

同 阿部盛夫

委員 高島栄造

同 大矢万三

同 岩橋守行

同 牧野近弘

同 菅岡勇祐

同 岩橋秀一

同 後藤正樹

同 香川高範

同 向所千夏

同 梅木澄代

同 四辻朝恵

同 高垣洋子

同 谷口十糸子

同 長尾善絵

【計18名】

本島学生担当委員会

委員長 雲庵春彦

副委員長 横関茂治

同 上田敬子

同 牧野善明

委員 齋藤義彦

同 片山秀明

同 池田恒治

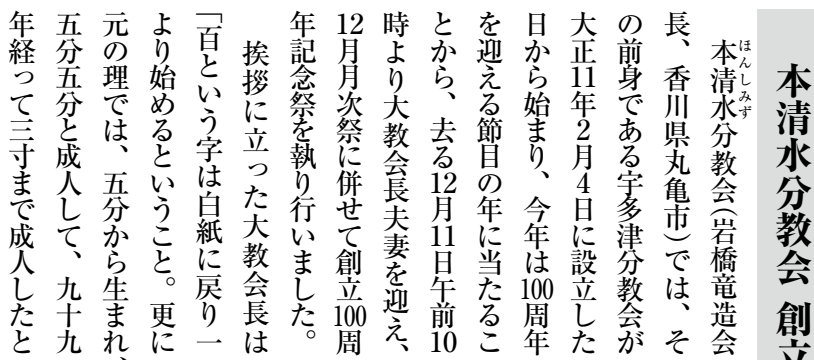
同 鎌田康典

同 奥村ちはる

同 上山薫

同 岡崎希恵

【計11名】



ほんしみず
本清水分教会（岩橋竜造会

時より大教会長夫妻を迎え、12月月次祭に併せて創立100周年記念祭を執り行いました。

挨拶に立つた大教会長は「百という字は白紙に戻り一より始めるということ。更に元の理では、五分から生まれ五分五分と成人して、九十九年経って三寸まで成人したと

この日は近隣の教会からも
寄り集い、少年会員もあわせ
て31人が参拝、陽気で勇んだ
おつとめが勤められました。

なおコロナ蔓延防止のため、直会は行われませんでした。

(立教185年12月分)

▼本島△片山幹太・片山かおり
香葉子・幹太郎・好次・昇太△片
山秀明△長尾真実・幸太 ▼樺太
分教会 ▼本樺△大上はる香・太
吉 ▼本浜△片山清枝・正枝・誠
▼攝泉分教会 ▼崇徳分教会 ▼
本高分教会 ▼ポートランド△片山
和信・陽子・昇慶・竜次
ご芳志に厚くお礼申し上げます

立教185年12月、本島関係のお運びはありませんでした。

(立教185年11月分)

崇徳	神峰	新信峰	鶴峰
高垣ひかり	富山優美	米澤由将	吉田義弘

(立教185年12月18日付)

本新田 窪田卓夫
【計1名】

(立教185年12月22日)

提出教会	15教会
報告数	540回
累計	13、556回

(立教185年11月分)

▼渋谷△宮崎理実 ▼本東都
△田中綾香 ▼同朋△新見典
利子 ▼本陽泉△本山杳香
▼本陽山△宮地麗奈 ▼大英
峰△義本歩美

【計6名】

(立教185年11月分)

【計1名】

(立教185年12月分)

本恵分会 沖野 純
本陽山分会 宮武 幸生

(立教185年12月分)

攝津隊
 本日比隊
 栄森峰隊
 鎌田陽まり
 石原信和
 西森陽平
 【計3隊】

▼1月(予定)▲

1日、大教会元日祭執行
3日、香川教区役職者会議
4日、本部年頭ごあいさつ
5日～7日、お節会ひのきしん
8日、本部神殿奉仕当番
14日、本海分教会巡教

21日、本部巡教

22日、大教会春季大祭執行

24日、修養科総立ちまなび

教祖140年祭決起の集い

27日、少年会年頭幹部会

かなめ会

29日、2月4日、海外巡教

本倉岡	4	攝津	7	赤	峰	33
本樺	10	菰	1	豪	峰	60
本室	8	琴浦	2	倉	峰	9
渋谷	17	本備前	5	栄	森峰	8
代々木	2	本府中	3	栄	星峰	2
本萬代	2	崇徳	6	栄	東峰	20
本都	62	本宣道	1	霊	峰	32
本京	13	本陽山	4	實	峰	41
本千代	2	本新田	3	仙	峰	58
計 27 教会			357 名			

- | | |
|---|--|
| 10.26 片山香葉子、本部女子青年に登用 | 12.22 大教会 12 月月次祭(神殿講話：池田さわみ役員) |
| 10.27 天理教青年会第 96 回総会(青年会本島分会より代表 3 名参加) | 12.22 大教会役員登用(窪田靖明)
大教会准役員登用(茶屋原良昭、横山正次、高島栄造、横山富明、横関茂治、長尾海和) |
| 10.28 全教野球大会、本島野球部は 1 回戦神奈川教区に 16 対 3 で勝利、2 回戦は伊都教会に 0 対 2 で敗退) | 12.22 大教会辞令交付
おつとめ修練部(部長：窪田靖明、副部長：岩橋竜造・後藤正治・奥村龍夫、ほか委員 15 名)
布教部(部長：平井真治郎、副部長：吉田晴雄・向所隆文、ほか委員 7 名) |
| 11.20 青年会本島分会総会(片山秀明委員長、20 名参加) | 青年会本島分会(委員長：伊東賢太郎、副委員長：内橋和博・鎌田康典、ほか委員 9 名) |
| 11.22 大教会 11 月月次祭(神殿講話：鳥澤繁実役員・アメリカより動画による) | 少年会本島団(団長：大上道徳、副団長：片山直明・横山富明・阿部盛夫、ほか委員 14 名) |
| 11.26 本攝分教会臨時祭典願お運び(片山直明会長) | 本島学生担当委員会(委員長：雲庵春彦、副委員長：横関茂治・上田敬子・牧野善明、ほか委員 7 名) |
| 11.26 攝泉分教会任命願・臨時祭典願お運び(任命：井上みち子) | 12.24 岩橋肇准役員・本宮濱分教会 3 代会長出直し(享年 82 歳) |
| 11.26 和太鼓ほんじま、天理駅前コフフン出演 | |
| 11.27 第 30 回女子青年大会(本島より 42 名・内女子青年 32 名が参加) | |
| 11 月 本島汽船が新旅客船にじまる就航 | |
| 12.11 本清水分教会創立 100 周年記念(岩橋竜造会長) | |
| 12.12 本岡分教会創立 100 周年記念(井野川由子会長) | |
| 12.15 白垣トモ子本廣分教会 4 代会長夫人出直し(享年 84 歳) | |

学生生徒修養会大学の部

【本部学生担当委員会】

- 期間：令和 5 年 3 月 4 日～3 月 8 日(4 泊 5 日)
- 受講対象：①令和 4 年 12 月 25 日現在、大学・短期大学・大学院・専門学校・高等専門学校(4 年生以上)に在学している者。②全期間(4 泊 5 日)を通して受講できる者
- 募集人員：400 名
- 内容：講話、グループワーク、修練(おつとめ勉強)など。※期間中に別席日は設けておりません。
- 集合：3 月 4 日午前 9 時 30 分～10 時。詰所にて受付票を受け取り、受付票に記載されている宿舎に集合してください。
- 解散：3 月 8 日午前 11 時 50 分頃(予定)
- 受講御供：10,000 円、詰所(直属学生担当委員会)に納めてください。そのほか交通費などは別途必要になります。
- 申込方法：本島学生担当委員会へ以下の書類をお届け下さい。受講願書 1 通(参加にあたっては、必ず保護者の同意を得ること)返信用封筒 1 枚(本人氏名、住所、郵便番号を記入し、84 円切手を貼付すること)
- 申込期間：令和 4 年 12 月 25 日～令和 5 年 2 月 15 日。※定員になり次第締め切られます。

学生生徒修養会高校卒業生コース

【本部学生担当委員会】

- 期間：令和 5 年 3 月 10 日～3 月 12 日(2 泊 3 日)
- 受講対象：①令和 4 年度高等学校卒業予定者。※卒業後の進路は問わない。※天理高等学校第一部、第二部、天理教校学園高校の卒業予定者も受講可能。②全期間を通して受講できる者
- 募集人員：400 名
- 内容：講話、グループワーク、お楽しみ行事など
- 集合：3 月 10 日午前 9 時～9 時 30 分。詰所にて受付票を受け取り、受付票に記載されている宿舎に集合して下さい
- 解散：3 月 12 日午後 2 時頃(予定)
- 受講御供：5,000 円、詰所(直属学生担当委員会)に納めてください。そのほか交通費などは別途必要になります
- 申込方法：本島学生担当委員会へ以下の書類をお届け下さい。受講願書 1 通、返信用封筒 1 枚(保護者氏名、住所、郵便番号を記入し、84 円切手を貼付すること)
- 申込期間：令和 4 年 12 月 25 日～令和 5 年 1 月 31 日。※定員になり次第締め切られます。

布教の家入寮者募集

【布教部】

- 期間：3 月 29 日「入寮研修会」から、翌年 3 月 27 日「卒寮の集い」まで
- 資格：①所属教会長ならびに直属教会長から推薦された天理教教人。②年齢は問わない。ただし、毎日布教に歩くことができること。③既婚、未婚は問わないが、単身での入寮に限る。
- 願書：①入寮願、②経歴書、③健康調査票、④小論文「入寮の動機および心構え」、⑤写真 2 枚。願書は布教一課または各寮にて配布。
- 願書受付：1 月 25 日午前 9 時から 2 月 25 日午後 4 時まで、布教一課へ持参。※郵送での提出はできません。各寮(教務支庁)では受付できません。
- 入寮研修会：入寮許可者に対し、3 月 29 日～30 日の 2 日間おちばにて研修会を開催し、終了後そのまま現地へ出発します
- 詳細については、布教一課(電話 0743-63-2243 直通)へお問い合わせ下さい

計報：12/15 白垣トモ子本廣分教会 4 代会長夫人お出直し、12/24 岩橋肇准役員・本宮濱分教会 3 代会長お出直しにつきましては、来月号に掲載させていただきます。

【本島通信編集室】

本島通信で振り返る 立教185年の出来事

- 1.1 大教会元旦祭
- 1.8 青年会雅楽講習会(10日まで本島詰所、12名参加)
- 1.11 本島団鼓笛隊第46回北海道地区冬季合宿(13日まで本室分教会、10名参加)
- 1.22 大教会春季大祭(神殿講話:本部員安野嘉彦先生)
- 2.11 レッツゴー青年会ひのきしん(11日本樺分教会、12日本室分教会、13日樺太分教会、7名参加)
- 2.19 横関悦夫准役員出直し(享年80歳)
- 2.21 第1回記念祭おつとめ奉仕者によるおつとめ稽古(40名参加)
- 2.22 大教会2月月次祭(神殿講話:岩橋竜造役員)
- 2.26 本宮濱分教会任命願お運び(任命:岩橋秀一)
- 3.2 学生生徒修養会大学の部(3月2日~6日、8日~12日の2回、10名参加)
- 3.13 赤峰分教会初代会長向所忠夫40年祭(向所隆文会長、参拝者135名)
- 3.15 寺本管一郎役員・本篠分教会2代会長出直し(享年91歳)
- 3.21 第2回記念祭おつとめ奉仕者によるおつとめ稽古(40名参加)
- 3.22 大教会3月月次祭(神殿講話:平井真治郎役員)
- 3.23 大教会春季霊祭(20霊)
- 3.26 本島団鼓笛隊春季特別合同練習会(28日まで本島詰所、70名参加)
- 3.28 春の学生おちばがえり(本島学生会より学生9名、担当委員5名参加)
- 3月 大教会中古マイクロバス購入(トヨタ・コースターEX)
- 4.13 第3回記念祭おつとめ奉仕者によるおつとめ稽古
- 4.14 大教会4月月次祭(神殿講話:岡崎八十則役員)
- 4.19 天理教婦人会第104回総会(本島支部より代表42名参加)
- 4.23 永島精一役員・渋谷分教会5代会長出直し(享年84歳)
- 4.26 本京分教会神殿及附属建物修築願・臨時祭典願お運び(牧野道昭会長)
- 4.30 大西孝子本廣島分教会2代会長夫人出直し(享年95歳)
- 5.21 本島大教会創立120周年記念祭(片山幹太会長、帰参者744名、真柱様よりメッセージを戴く、青年会ウィーケン隊が中心となって準備ひのきしん実施、ご参拝案内パンフレット・記念品(今治ハンドタオル)配布、直会の代わりに「カンタリーパーク」開設、キッチンカー4店舗出店)
- 5.22 大教会5月月次祭(神殿講話:片山幹太大会長)
- 5.26 本宮濱分教会神殿修築願・臨時祭典日変更願お運び(岩橋秀一会長)
- 5.26 マリーナ教会神殿修築願お運び(岩橋元博会長)
- 6.10 おやさとふしん青年会ひのきしん隊第903回隊(6月10, 11, 13, 16, 17, 18の6日間、本島分会より13名参加)
- 6.19 本宮濱分教会4代会長就任奉告祭(岩橋秀一会長、参拝者29名)
- 6.22 本島大教会6月月次祭(神殿講話:片山好治役員)
- 7.16 帰ってきたウィーケン隊(青年会本島分会、18日まで大教会、18名参加)
- 7.22 本島大教会7月月次祭(神殿講話:大西知役員)
- 7.26 夏のこどもおちばひのきしん
- 7.26 パシフィックコースト教会神殿屋根葺替願・臨時祭典願お運び(屋敷ゲーリー会長)
- 7.26 ハリウッド教会神殿屋根葺替願・臨時祭典願お運び(岡崎宏子会長)
- 7.27 本島団鼓笛隊夏季特別合同練習会(31日まで本島詰所、70名参加、30日太鼓ほんじまとジョイントコンサート、31日鼓笛オンパレードに出演、本隊金賞、ドリルチーム優秀演技賞、ドリム隊奨励賞を受賞)
- 8.1 本島学生会サマーフェス(2日まで本島詰所、19名参加)
- 8.2 あらきとうりょう入門塾(学生5名参加、本島詰所)
- 8.2 こかん様に続く会(学生5名参加、本島詰所)
- 8.5, 6 マリーナ教会神殿修築鎮座奉告祭(岩橋元博会長)
- 8.8 学生生徒修養会高校の部(高校生14名、スタッフ4名参加)
- 8.12, 13 パシフィックコースト神殿屋根葺替鎮座奉告祭(屋敷ゲーリー会長)
- 8.14, 15 ハリウッド教会神殿屋根葺替鎮座奉告祭(岡崎宏子会長)
- 8.21 少年会本島団第32回総会と夏のつどい(本島大教会、23名参加)
- 8.22 大教会8月月次祭(神殿講話:学生層育成者講習会として講師:松山勇一本部学生担当委員)
- 8.25 實峰分教会任命願・臨時祭典願・恒例祭日変更願お運び(江草克二会長)
- 9月 片山幹太大会長、修養科一期講師(11月27日まで)
- 9.19 本島学生会・親里管内学生懇親会(本島詰所、高校生7名参加)
- 9.22 大教会9月月次祭(神殿講話:牧野道昭役員)
- 9.22 婦人会本島支部女鳴物勉強会(12名参加)
- 9.23 大教会秋季霊祭(23霊)
- 10.9 實峰分教会2代会長就任奉告祭(江草克二会長)
- 10.9 青年会雅楽講習会(10日まで本島詰所、10名参加)
- 10.22 大教会秋季大祭(神殿講話:長谷川邦昭役員)
- 10.26 本部秋季大祭にて真柱様より「諭達第四号」ご発布、午後1時より詰所4階講堂にて帰参者全員で諭達拝読(約100名)

大教会からの お知らせ

12月22日教会長会議連絡事項

本部巡教

【総務部】

教祖 140 年祭本部巡教

- 期日：立教 186 年 1 月 21 日(土)
午後 2 時より
- 会場：本島大教会神殿
- 巡教員：本部員 田中善吉先生
- 受講対象者：教会長、大教会役員、
准役員(その他、教会長配偶者、後
継者、前会長、布教所長等、各教
会でご相談ください)
- 持ち物：各自の「論達第四号」と筆
記具
- 服装：男子はハッピー、ネクタイ、女
子はこれに準ずる
- 特船：兄島観光港 21 日 12:30 発
の特船を用意します。片道一人 800
円(見込み)。事前に人数を船舶会
社へ報告する必要から、利用する
方は本島大教会(担当：平井真治郎)
までお知らせ下さい。

教祖140年祭決起の集い

【年祭活動実行委員会】

- 日時：立教 186 年 1 月 25 日(水)
午後 1 時から 4 時まで
- 場所：本島詰所 4 階講堂
- 対象：大教会役員、准役員、教会長
夫妻(欠席の場合代理)
- 用意：論達第四号、筆記用具
- 内容：論達第四号拝読、大教会長挨拶、
意見交換、お願いづとめ(西礼
拝場)

鼓笛隊北海道地区冬季合宿

【本島団鼓笛隊】

- 期間：1 月 13 日(金)から 15 日(日)
- 会場：本樺分教会
- 派遣指導員：鎌田康典、佐藤祥子

<https://www.honjima.com/>

本島大教会ウェブサイト

少年会年頭幹部会

【少年会本部】

- 期日：1 月 27 日午前 9 時 30 分より
- 会場：第二食堂
- 対象：育成会長、団長、少年会委員

雅楽講習会

【青年会本島分会】

- 日時：1 月 8 日(日)午前 10 時～
1 月 9 日(祝)午後 4 時
- 会場：本島詰所
- 内容：経験者：壺越調、初心者：平調

大教会大祭準備ひのきしん

【青年会本島分会】

- 日時：1 月 14 日(土)、15 日(日)
※14 日午前 8 時 30 分より開始しま
すが、船の時間を考慮し集合時間
は設けておりません
- 場所：本島大教会
- 内容：大祭準備(提灯・名称旗台設
置など)

布教・教理勉強会

【青年会本島分会】

- 日時：1 月 28 日(土)午前 10 時集合、
29 日(日)午後 5 時解散
- 会場：本島詰所
- 内容：教理勉強、布教活動、青年
会本部が推進している『問いと対話』
の実践、J R 奈良駅前に在いがけ

レッツゴー青年会

【青年会本島分会】

- 期間：2 月 10 日(金)、11 日(土)、12 日(日)
- 会場：本樺分教会、本室分教会、樺
太分教会 ※3 日間で各教会を巡回
いたします
- 内容：雪かき・雪下ろしひのきしん
等

シアトル教会電話番号変更

【総務部】

シアトル教会 大本サム

- 新電話番号：206-536-0016

1 月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈大教会・炊事ひのきしん〉

- 期間：1 月 21 日～22 日
- 派遣教会：渋谷分教会

〈詰所・春季大祭世話取りひのきしん〉

- 期間：1 月 24 日午後 8 時～26 日午
後 8 時
- 派遣教会：樺太、本京、本浜、本岡
崎、本邦、撫川、本中国、阿波本徳、
本九、赤峰、各教会 1 名

大教会春季大祭ライブ中継

【本島通信編集室】

- 対象：1 月 22 日大教会春季大祭に帰
参できないため、ライブ中継視聴を
希望する方
- 申込方法：
メールで、live@honjima.com
に「ライブ希望」と「教会
名・氏名」を記入してお
申し込みください。当
日朝までにライブ視聴
できるアドレスをメールでお知ら
せします。
- 申込締切：1 月 21 日午後 5 時まで
- ご注意：ライブ中継は毎月のお申
し込みとなります。申込み後、自
動返信メールが送られます。届か
ない場合は各自の迷惑メールフォ
ルダをご確認ください。



統 計 (11 月 1 日～30 日)

教会名	初 席	中 席	参 拜 者	修 養 料	教 人 講 習	検 定 講 習
本 千 恵		1				
崇 徳			1			
本 陽 山		2				
本 千 嘉	1					
吉 峰		1				
神 峰			1			
栄 星 峰		1				
實 峰		1				
別 峰		1				
吉 松 峰		1				
新 信 峰	1		1			
鶴 峰		1	1			
善 峰	1					
仙 峰		4				
合 計	3	13	4	0	0	0